

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	とうきょうはいゆうせいかつきょうどうくみあい 東京俳優生活協同組合		団体ウェブサイトURL http://www.haikyo.co.jp
	代表者職・氏名 理事長 朝田孝二		
制作団体所在地	〒 151-0051	最寄り駅(バス停)	代々木駅
	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-11-13		
電話番号	03-3356-7521		
ふりがな 公演団体名	げきだんはいきょう 劇団俳協		団体ウェブサイトURL https://haikyo.co.jp/theatrical/
	代表者職・氏名 劇団代表 市川勉		
公演団体所在地	〒 161-0034	最寄り駅(バス停)	下落合駅
	東京都新宿区上落合1-17-9		
制作団体 設立年月	1960年 5 月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 朝田孝二 専務理事 池谷雄一 常務理事 千葉茂 理事 米田雄司		理事執行部12名、職員27名、組合員370名 加入条件は当組合定款第2章第6条、第7条、第8条に準ずる。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	土岐利臣
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	池谷雄一
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	toki.haikyo@gmail.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1960年・・・5月29日前身のTMCを経て俳協の創立。新宿三栄町に事務所を設置、出演事業部・供給部を開設。 1966年・・・千駄ヶ谷に土地・家屋を取得し事務所を移転。制作事業開始。 1967年・・・共済部開設。 1972年・・・新宿区上落合の「群像ビル」取得。俳優養成事業開始。 1976年・・・劇団俳協の前身「虹のファミリー劇場」全国公演スタート。 1980年・・・創立20周年を記念し千駄ヶ谷事業所隣接地購入。 1982年・・・千駄ヶ谷事業所ビル(現ビル)完成。上落合事業所内に劇団俳協・舞台美術部を開設。 1998年・・・上落合事業所リニューアルオープン。フリースペースTACCS1179が同時オープン。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2017年度「あらしのよるに」 37公演(新潟市内小学校巡回公演) 2018年度「あらしのよるに」 4公演 2022年度「あらしのよるに」1公演(武蔵野市立小学校演劇鑑賞教室) 2023年度「あらしのよるに」4公演(鹿沼市学校演劇鑑賞会) 2023年度「あらしのよるに」12公演(R5学校巡回公演)</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2017年度「あらしのよるに」 1公演(新潟市内小学校巡回公演)</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/G_6OGUpOyk</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団俳協】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	-
企画名	劇団俳協「あらしのよるに」			
企画のねらい	演劇体験を通して、グループワーク、鑑賞を深く豊かにすることを目的とします。 生徒同士が協力して創造参加することで、多種多様な価値観を受け入れ、表現力と思考力を高め、高度なコミュニケーション能力の向上を成果目標とします。 培われたコミュニケーション能力を基に、主体的なコミュニティ参加、精神的自立を将来的成果とします。			
演目概要・演目選択理由	<p>■概要 それはあらしのよる。まっくらな山小屋で、ヤギのメイとオオカミのガブが出会います。そして、たがいに相手が誰だか分からないまま友達になってしまいました。しかし、ヤギとオオカミの、それぞれの仲間から攻めたてられ、仕方なく群を離れるガブとメイ。その行く手には吹雪の山が…。</p> <p>■選択理由 『本当の友情』に、理由はいらない。』 オオカミとヤギが友だちになることはあるのだろうか？本来「食うものと、食われるもの」=「敵同士」の関係です。ですが、2匹の最初の出会いは、お互い姿かたちがわからない中で、相手のドラマ(人となり)を知り、共感したのです。このコミュニケーションがあったからこそ、2匹は互いの差異を認め、友情を育み、様々な障害に立ち向かうのです。このドラマを通して、ダイバーシティ社会を生きる次代を担う子どもたちへ、友情の大切さを伝えます。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	物語の中でオオカミが出てくるシーンに、オオカミの衣装を着用し、最大20名出演。 事前のwsで、設定を基に自分たちで考えたセリフや動きに演出をつけて実演。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	舞台上共演20名	
		鑑賞人数目安	400名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>あらしのよるに</p> <p>作 きむら ゆういち 脚本 西川 徹 演出 伍堂 哲也 音楽 竹田 えり 振付 坂口 江都子</p>			
出演者	丸山拓真 綿貫友哉 鈴木健太郎 板垣果那 横川集人 高橋夏生 福浦麻子			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>演出/伍堂 哲也 協俳優養成所を卒業後、劇団俳協・演技部に所属し、TV、劇団本公演、子供向けミュージカル公演に出演。その後、久世龍之介氏の演出助手を経て、劇団俳協・演出部に所属。 俳優演劇研究所の演出、劇団公演の演出を担当。外部では、尚美ミュージックカレッジ専門学校にて非常勤講師、プロデュース公演の演出にも意欲的に取り組んでいる。</p> <p>音楽/竹田 えり 作曲家、女優。国立音楽大学教育科卒業。NHK「うたっておどろんぱ」「BSおかあさんといっしょ」「てれび絵本」などに楽曲を多数提供。サンリオピューロランドのショー音楽なども手掛ける。近年はファミリー向けコンサートや、保育者向け講習会の講師としても積極的に活動中。</p> <p>メインキャスト/板垣果那 俳優演劇研究所を修了後、俳協に所属。劇団俳協ファミリーミュージカル「かいけつゾロリまほうつかいのでし」「かいけつゾロリなぞのおたから大さくせん!!」に出演。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 7 名	運搬	積載量: 4 t	
	スタッフ: 10 名		車長: 8.5 m	
	合計: 17 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～12:00		13:00～14:40	10	15:10～17:20	17時30分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月		8月		9月	
	0日	0日		0日		0日	
	10月	11月		12月		1月	
	19日	8日		15日		14日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		56日
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>	[画像1_舞台設営img] 体育館フロア(体育館既設ステージとは逆)にて舞台設営。 【舞台エリア】 間口12.0m 奥行11.0m						
	[画像2_上演の様子]						
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否		該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団俳協 】

ワークショップのねらい	コミュニケーションに必要な「協働」「遊び」「自己発信」「よく見る」「よく感じる」「想像する」を養う。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	ws参加80名ほど(小学生3～4年生対象) ※内、本番共演参加最大20名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>実施時間:約90分</p> <p>生徒様入場→クラスごとに整列→参加学年主任さまor教頭先生or副校長先生より挨拶→「それでは劇団の皆さんお願いします」を受けてWS実施。</p> <p>A導入→自己紹介、作品内容、WS実施目的を伝えます。</p> <p>Bアイスブレイク→体操、ストレッチ運動。シアターゲーム。 緊張した参加者の心と身体を解放し、コミュニケーションを円滑にする。</p> <p>休憩</p> <p>C発声→グループに分かれて発声練習。 声を出すことに慣れさせる。</p> <p>D役作り→グループに分かれて参加者それぞれの「オオカミ」の役作り。 オオカミの姿、形、性格、動き方など話し合って理解を深めます。</p> <p>Eシーン作り→それぞれ作ったオオカミで短いシーンを創り。 簡単なお題を基に、時間、場所、目的を共有しながらグループでシーンを創ります。</p> <p>F演出→出来上がったシーンを演出へ提示し、演出指導を受ける。</p> <p>G発表・鑑賞→それぞれのグループで作った作品を発表、互いに鑑賞。</p> <p>H本番共演グループ決定→本番に向けて課題を案内。</p> <p>終了→参加学年主任さまor教頭先生or副校長先生へ進行をお渡し。退場</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>場所:体育館</p> <p>必要なもの:体育館音響システムORポータブルスピーカー、マイク、カメラ(創作シーンの動画撮影用)</p> <p>本番当日の午前中、共演生徒はリハーサルに20～30分参加します。</p>		

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

劇団俳協

】

①本事業に対する取り組み姿勢

私たちは人間は素晴らしいを思います。
 なぜなら人間がいつも、「自分のよりよいありよう」を欲求しているからだと思うのです。
 「よりよいありよう」こそが「しあわせ」だと感じられるからだと思うのです。
 芸術は、その「よりよい」とは何かを考え続ける営みではないでしょうか。
 私たちは、次代を担う多種多様な子どもたちが、演劇という非日常を体験することで、感情の「一体感」(声援、笑い、悔しさ、喜び)を経験・共有し、この世は生きるに値すると自信をもってもらえる事業にしたいと思います。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

ワークショップには公演実施メンバーが参加し、事前下見、公演打ち合わせを丁寧に行います。
 実施内容、客席図、人数、スケジュール、使用備品等をまとめた実施計画書を個別に作成。送付します。
 実施終了後、劇団にて簡易的に清掃実施。

本事業に対する
 取り組み姿勢、および
 効果的かつ円滑に実施
 するための工夫